

令和2年度 第2回 宇都宮市民大学運営協議会 会議録

1 開催日時 令和2年8月5日(水) 午後3時から

2 開催場所 教育委員室(宇都宮市役所13階)

3 出席委員

川本 清 会長 島田 繁雄 副会長 大山 眞一 委員

川島 育郎 委員 小針 協子 委員 野中 正知 委員

長谷川 京子 委員

(以上7名)

4 欠席委員

阿部 ゆり 委員 江田 壮一 委員 加藤 丈雄 委員

(以上3名)

5 出席職員

生涯学習課長 秋山 黎明

生涯学習課長補佐 今井 宏行

家庭教育・地域人材グループ係長 藤田 直樹

家庭教育・地域人材グループ総括 泉 志帆

家庭教育・地域人材グループ専任 高田 正枝

家庭教育・地域人材グループ社会教育主事 加藤 裕史

家庭教育・地域人材グループ主事 佐藤 真莉乃

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者の数 0人

8 議事

(1) 議題

- ・ 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施について
- ・ 令和2年度宇都宮市民大学公開講座について
- ・ 令和3年度宇都宮市民大学の実施について

(2) その他

- ・ 委員の改選について

9 議事の経過

(1) 令和2年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

川本会長	意見、質問はあるか。
大山委員	講座の途中で、受講者やスタッフ等に感染者や濃厚接触者が出た場合、講座が中止になるということも考えておく必要があるのか。
事務局	受講生、スタッフ、講師など、中止においてもケースが様々で多岐にわたる。情報提供があり次第、即時に通知する。今回、月曜日・木曜日・金曜日は午前・午後にわたって講座を実施する。午前に感染者が発覚した場合は、午後の講座を中止、消毒が必要になる場合は、翌日の講座を中止にするなどが考えられる。新規感染者なのか、濃厚接触者なのかなど、その時の内容に応じて判断していく。
大山委員	エアコンは循環だけで換気しないため、窓を開けるなどの換気はしなければならない。冬場の寒い時に常時換気しておくのか。途中の休憩時の換気では足りないのではないか。30分おきの換気など、こまめな換気をしないと何が起こるかわからない。
事務局	人材かがやきセンターのエアコンには換気口もついているが、強度が十分かどうか心配なところもある。講師の先生に事前に了解をいただき、講座中もスタッフが30分に1回は窓を開け、換気を行えるようにしていく。
大山委員	先日、東図書館でZOOM研修を受けたときは、全部開けっ放しでクーラーをかけていた。夏場はそれで済むが、高齢の方も多いため、冬場に開けっ放しはどうなのか。時期によって対応も違ってくると思う。
川本会長	4ページのその他の欄に「専門講座会場（人材かがやきセンター）への御来場には公共交通機関をご利用ください。」とあるが、受講者が高齢の方で、混雑状況もわからないので、バス等に乗るのがいやだと思える人はいないか。表現をもう少しゆるやかにしたほうがよい。「なるべく公共交通機関を使っていたきたいが、感染が心配な人はお車でお越してください。ただし、駐車場があまりないのでご了承ください。」など公共交通機関を強調しないほうがよい。基本的な感染防止対策の体制を整えておく必要がある。マスク着用で、間隔が最低1メートル以上空いていれば、濃厚接触者とはならない。感染防止対策をきちんとしたうえで講座を進めてほしい。
事務局	公共交通機関の表記については、印刷会社にも確認し、校正ができるようであれば、皆さんが参加しやすく支障がないような書き方を検討していく。
川本会長	では、この案で承認ということではよろしいか。
(一同)	(異議の声なし)

(2) 令和2年度宇都宮市民大学公開講座について

- | | |
|-------|--|
| 川本会長 | 意見、質問はあるか。 |
| 島田副会長 | こういうかたちで著名な方に依頼して講座を開くのはとても良いことだと思う。実施できるか検討するということがあったが、このようなかたちでやっていけば良いと思う。 |
| 川本会長 | 講座当日の1か月ほど前に中止になった場合は、キャンセル料は発生するのか。 |
| 事務局 | 現状、講師の日にちを押さえた段階である。最終的な実施の判断は1か月前となるので、今後講師のキャンセル料の発生時期がいつになるのかを確認した上で、具体的なことは検討していく。 |
| 大山委員 | 受講料について、公開講座受講者のみから徴収とあるが、専門講座を受講している人は無料ということか。 |
| 事務局 | これまでは、合同開校式公開講座として、専門講座の受講生全員から公開講座の受講料を含んだ料金を徴収していたが、今回は、公開講座を受講した人だけから受講料をいただく。 |
| 大山委員 | 当初予定されていた3名への講師依頼は難しいのか。 |
| 事務局 | 金額の面や日程の面で難しい。特に今回は実施の判断が直前になってしまったため、日程の面で今回は依頼できなかった。 |
| 川島委員 | 笠井さんへの謝金はいくらを予定しているのか。 |
| 事務局 | 70万円を予定している。 |
| 小針委員 | 金額、日程、著名な方という条件が合う方がいてよかった。今の時期に災害系のテーマが必要だと思うので、着眼点がよかった。ぜひ実施できると良いと思う。 |
| 川本会長 | 東日本大震災から10年という節目でもあるので良いと思う。野中委員はいかがか。 |
| 野中委員 | だいたい意見は出たので特にない。 |
| 川本会長 | 長谷川委員はいかがか。 |
| 長谷川委員 | 専門講座に出ていない人も公開講座に参加できるという認識で間違いな
いか。 |
| 事務局 | 間違いはない。別途受講者を募集し実施する。 |
| 川本会長 | それでは公開講座についてはこれで承認ということよろしいか。 |
| (一同) | (異議の声無し) |

(3) 令和3年度宇都宮市民大学の実施について

- 川本会長 来年度はまだ新型コロナの状況もどうなるか見通しが見えない中、対策をきちんと行いながら進めていくことが必要だと思う。意見、質問はあるか。
- 島田副会長 令和2年度に中止となった講座を優先的に実施するということが、事前に5講座の企画者にやるかどうかを確認してから募集するのか。一律で募集するのか。事前に5講座の企画者がやるということであれば、募集講座数を12-5=7講座としたほうが良いのではないかと。事前に確認することはないか。
- 事務局 現在の想定では、一律で募集する予定である。今回中止となった講座の企画者で、既に令和3年度の講座を新規に企画している企画者もいるので、中止となった講座を前期と後期どちらで実施するのかなど、調整する時間が必要である。同時期にする想定であったが、事務局内で確認した上で、提案いただいたような手法がとれるようであれば、どのように優先させるかも含めて再検討していく。
- 大山委員 自分の講座も前期で中止となった。企画していた講座は講師の先生が全員東京在住であり、東京から来ていただくのは心配である。先生方はやる気だが、状況を見ていかないといけない。
- 中止となった講座を全て前期に実施する場合、前期には1講座のみが新規で採用となる。その場合の選考方法について、中止となった講座は書類上の日程調整と書類審査だけで採用されるのか。プレゼンテーションも行うのか。
- 事務局 11ページに記載のとおり、令和2年度前期中止となった講座は、テーマの変更などの大幅な修正がなければ、講座企画運営選考委員会を通過していることから、プレゼンテーション審査は免除とする。
- 大山委員 東京在住の講師2名には待っていただいているので、時期を考え、なんとか実施できるよう進めたい。
- 川本会長 他にあるか。
- 島田副会長 今のような講師が東京在住などの場合に、特例として、ライブで講座を行うのはどうか。例えば5回中2回くらいはライブで講座を実施することもできるのでは。
- 事務局 大学等でも遠隔授業を行っている事例があることから、遠隔地の講師についても新たな手法を考えていく必要がある。
- 島田副会長 今は授業もオンデマンドやライブなどのウェブを使っている。そろそろ

そのような手法を使うようになっていかないといけない。またこのような状況が今後いつ来るかわからない。ぜひ検討してください。

長谷川委員 募集人数について、今までは1人でいくつもの講座を受けることが可能だったと聞いているが、今回は通常の半数の30名ということで、1人1講座のみとしてしまえば、集中して募集が集まることもないのでは。

事務局 配慮しながら検討していきたい。

川本会長 他にあるか。それでは、令和3年度宇都宮市民大学の実施について、事務局案でご承認いただけるか。

(一同) (異議の声なし)

川本会長 それでは、資料の案を消していただきたい。

(4) その他

・若年層に対する市民大学について

大山委員 先日、益子町で町民大学をやっていたという記事が読売新聞に掲載されていた。これまで、いろいろなところで成人に対して実施していたが、県立益子芳星高校で高校生対象に、町長が校長となって、郷土のことを若い人に教えるというという内容で、実際に高校に行って授業をした。このようなものを参考に、宇都宮に関する産業、教育、歴史についてこちらから出向いて、若い人が学ぶ取り組みも必要かと思う。

・委員の改選について

川本会長 こちらについて意見はあるか。

(一同) (異議の声なし)

川本会長 特にないようなので承認とする。そのほか、なにか質問、発言はあるか。

野中委員 先ほど話はあったが、予定しても、この先、警戒時期になったりして急にできなくなることがある。自分の財団でも会議等はオンラインで行っている。市の生涯学習事業もオンライン化することによって逆に若年層の取り込みができるなどの可能性を秘めている。お金もかかることではあるが、検討は順次進めておく必要があると思う。

川本会長 やっていかないといけないことだと思う。ぜひ検討をしてほしい。

以上で、本日の議題は全て終了とする。